

第2回融合委員会の目的：「未来像の検討」

成果の概要

ワークショップ形式で開催した第1回融合委員会において出された未来像を21のキーワードに分類したものを検討素材として、京都が目指すべき未来像が検討されました。

どの未来像が重要かという視点で21のキーワードを融合しながら、概ね次の4つのカテゴリーに絞り込まれました。

① 低炭素（温室効果ガスの排出量の少ない）の京都をつくる

急速な地球温暖化の進行を止めるために、森林などの自然環境の維持・増進、化石燃料に依存しない交通、地域の特性を活かしたコンパクトシティの実現など、まち全体を持続可能な低炭素（温室効果ガスの排出量の少ない）なまちにする。

② 京都型経済モデルをつくる

「低炭素社会を先導する産業」、「デザイン、味、水等、京都の伝統文化を活かした産業」、「観光産業」の3つが連鎖する新しい京都型経済モデルをつくる。

③ 協力社会をつくる

色々なところに参加できる仕組みが整い、みんなが無理なく少しずつ努力することで、自律的な地域コミュニティを育み、共に支えあうまちにする。

④ 人材を育てる

国際的ビジネスリーダー、オピニオンリーダー、地域を支えるリーダーなど、①から③の未来像を担う人材を育てる。

今後は、この成果を基に未来像をまとめ、第3回融合委員会では重点戦略が議論される予定です。

議論の結果、未来像のキーワードは4つのカテゴリーに分類されました。



実施概要

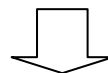
- 日時 平成21年12月22日（火）午前9時30分～午前11時45分
 場所 京都市国際交流会館（2階特別会議室）
 参加者 尾池会長、浅岡副会長、宗田融合委員会委員長、平井融合委員会副委員長（9名）
 堀場委員（活性化部会部会長）、秋月委員（活性化部会副部会長）
 西岡委員（すこやか部会副部会長）、塚口委員（まちづくり部会部会長）
 松山委員（未来の担い手・若者会議U35議長）
 （市の参加者） 由木副市長、西村総合企画局長、柴山政策企画室長、大田京都創生推進部長

当日のプロセス

開会
○尾池会長あいさつ

議事1 今後のスケジュールの検討

① 人口減少や少子高齢化などの動かしがたい深刻な与条件を確認



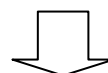
② 「都市経営の理念」を確認

議事2 若者会議U35からの提案

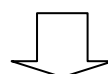
若者会議U35から、未来像及び重点戦略について提案

議事3 未来像の検討

① 宗田委員長から、本日の目的を説明



② 未来像のキーワードを追加



③ 未来像のキーワードを融合し、4つのカテゴリーに絞り込み

議事4 今後の進め方について
共汗部会における発言を確認



尾池会長が「国際都市として、世界の中での京都を念頭に置きながら、10年後の未来像を描こう」とあいさつ



宗田委員長から、都市経営の理念である「地域主権時代のモデル都市～京都発、京都流～」を説明



松山議長から、「みんなが無理なく少しずつ努力することで作り上げる京都」などの未来像や重点戦略を提案



各委員から提案された未来像のキーワードを、ホワイトボードに追加



各委員から提案された未来像のキーワードを、4つのカテゴリーに分類



ワークショップ的手法を用い、活発な議論が交わされました。



塚口委員から、まちづくり部会における意見が紹介されました。